



2011.4.8

土木学会震災特別委員会 震災調査速報会

国土技術政策総合研究所
海岸研究室長 諏訪義雄



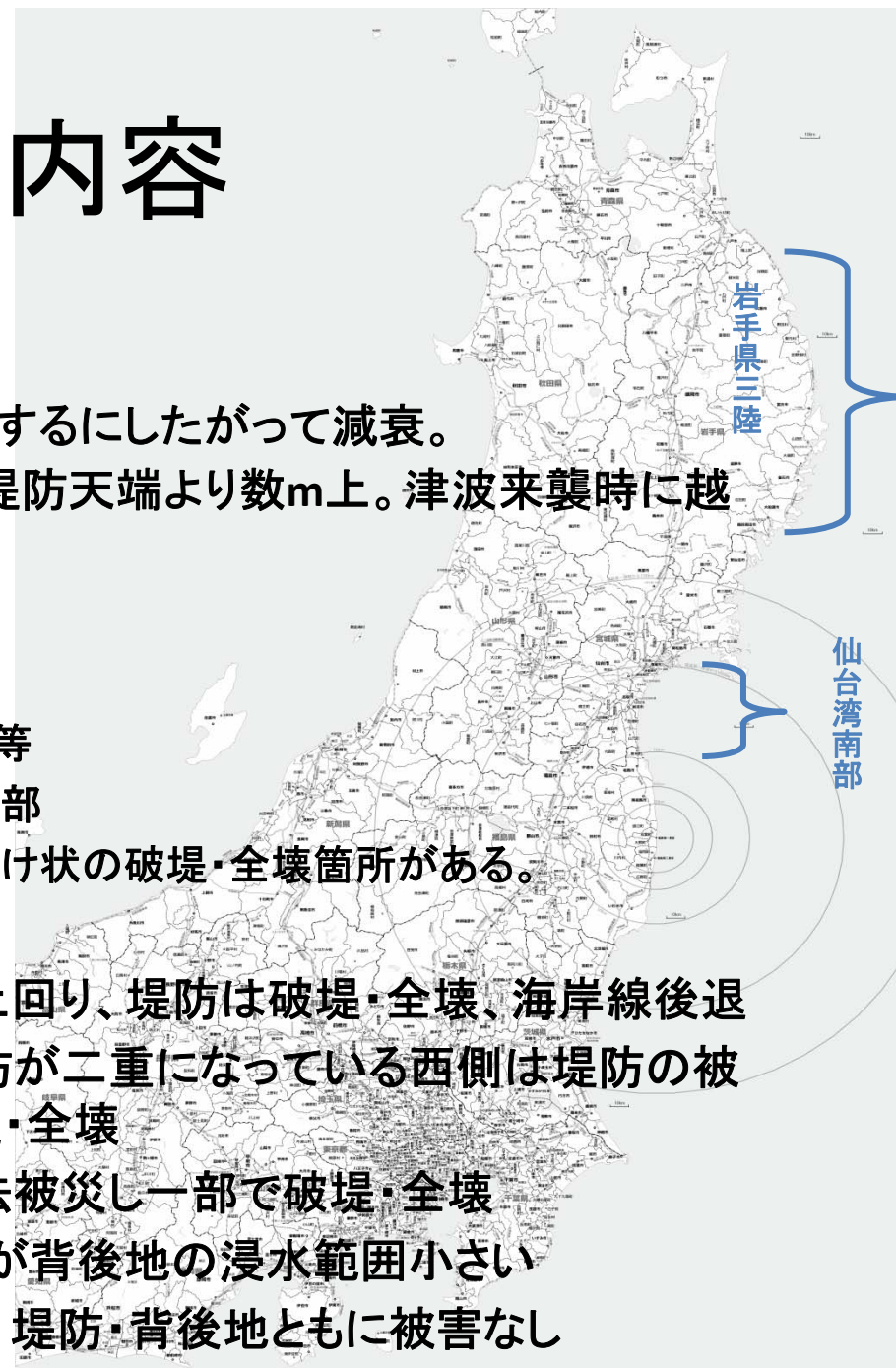
報告内容

<仙台湾南部>

1. 平野部では痕跡標高・痕跡水深が遡上するにしがって減衰。
2. 仙台湾南部の堤防付近の痕跡標高は堤防天端より数m上。津波来襲時に越流。大きいところでは越流水深4m以上。
3. 堤防の被災状況
 - 破堤・全壊が目立つ区間: 山元海岸
 - 法尻洗掘・裏法侵食が目立つ区間: 吉田浜等
 - 法尻洗掘のみが見られる区間: 蒲崎海岸南部
 - 法尻洗掘・裏法侵食が目立つ区間でも歯抜け状の破堤・全壊箇所がある。

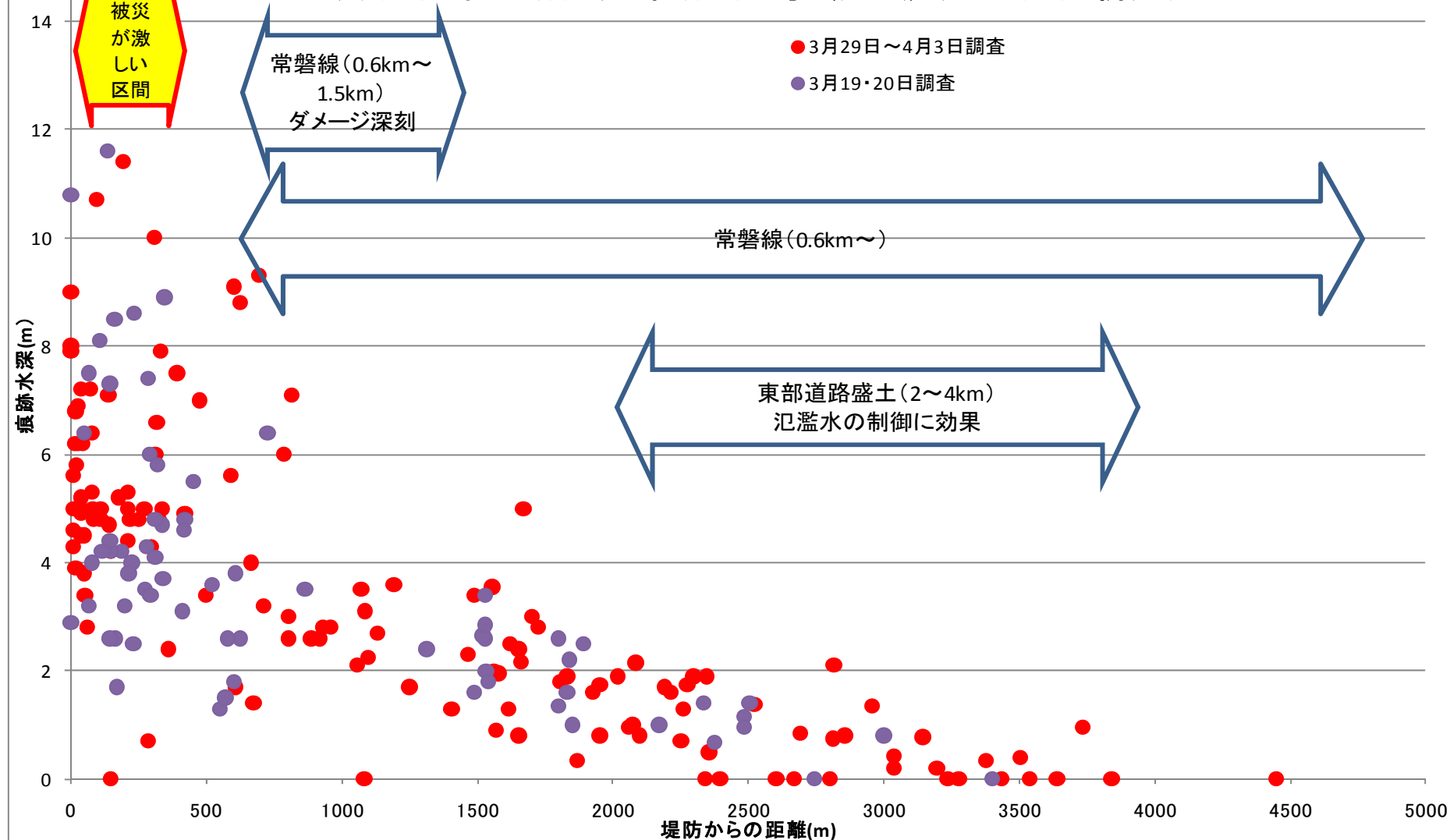
<岩手県三陸海岸>

1. 陸前高田海岸: 津波が堤防高を大きく上回り、堤防は破堤・全壊、海岸線後退
2. 田老海岸: 津波は堤防高を超えた。堤防が二重になっている西側は堤防の被災軽い一方、堤防が一本の東側は破堤・全壊
3. 金浜海岸: 津波は堤防高を超えた。裏法被災し一部で破堤・全壊
4. 普代水門: 津波は水門天端高を超えたが背後地の浸水範囲小さい
5. 平内海岸: 津波は堤防天端高を下回り、堤防・背後地ともに被害なし



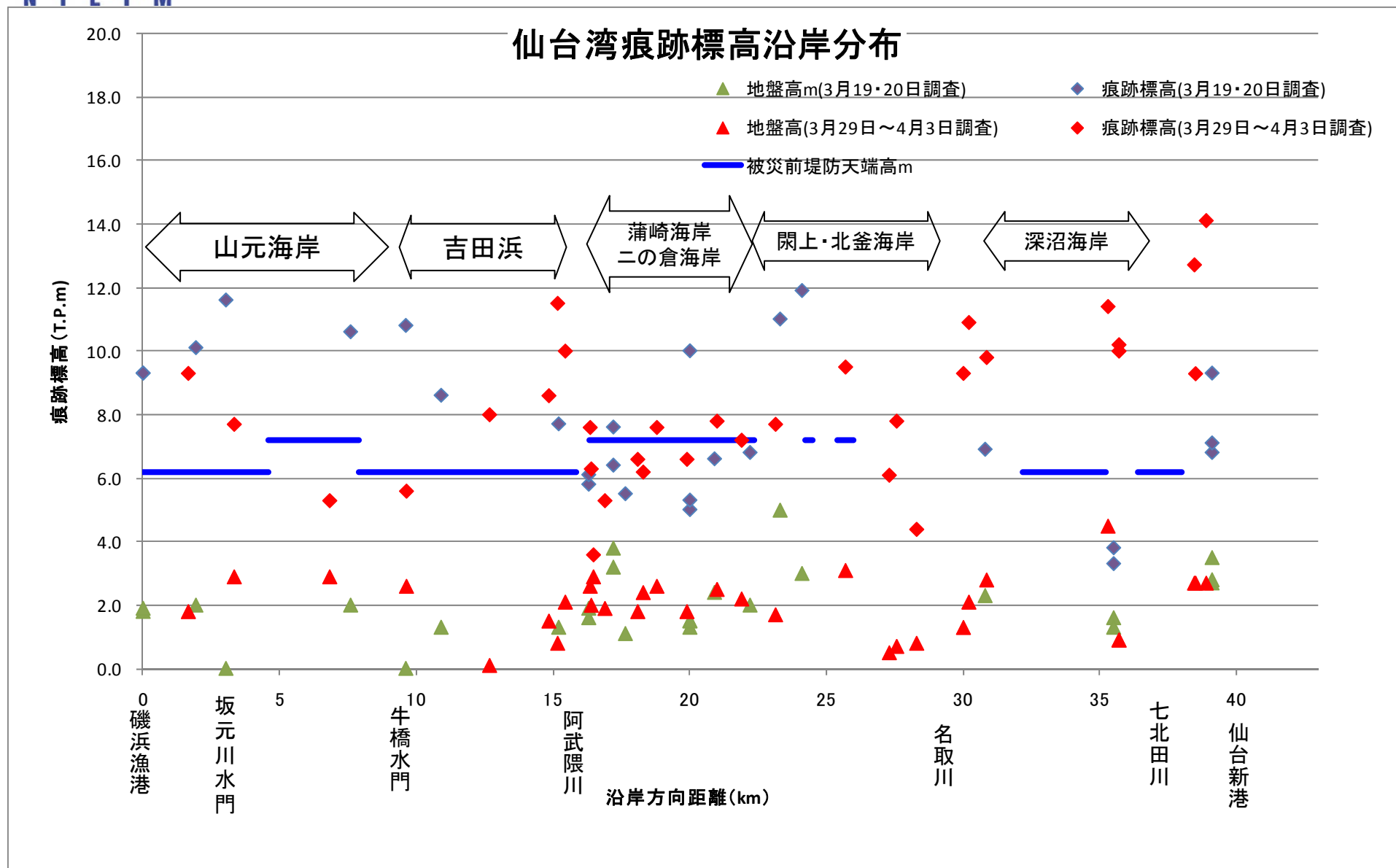


痕跡水深の断面分布(仙台湾 磯浜漁港～仙台南港)



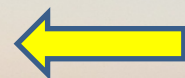


※地盤高、標高は、地震前の測量結果より算出





堤防が全壊し海岸線が大きく後退 (山元海岸)



痕跡標高 T.P.11.6m

天端高 T.P.6.2m





裏法尻洗掘・裏法侵食を伴う堤防半壊 歯抜け状に発生している全壊箇所 (吉田浜)

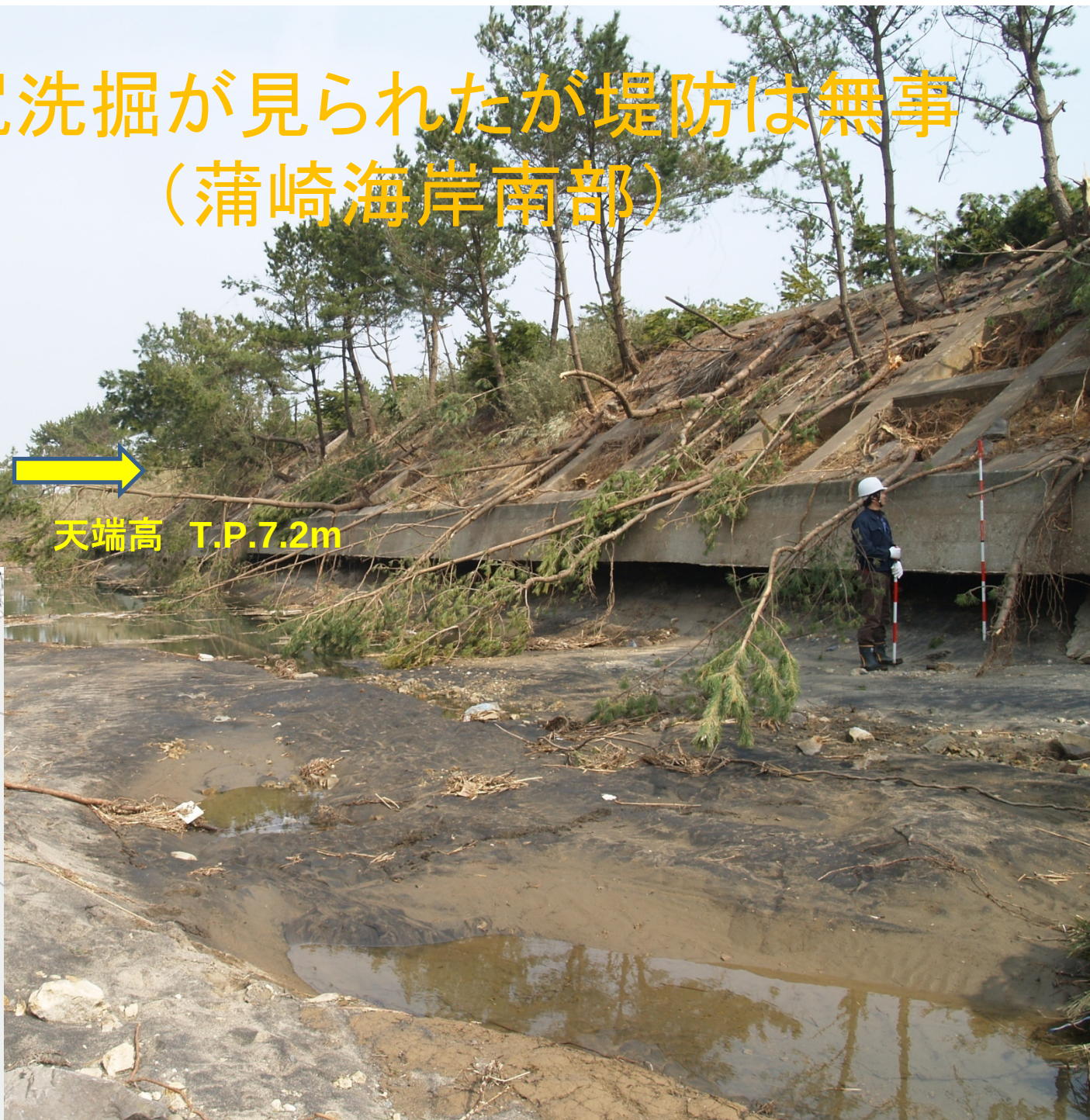


痕跡標高 T.P.8.6m

天端高 T.P.6.2m

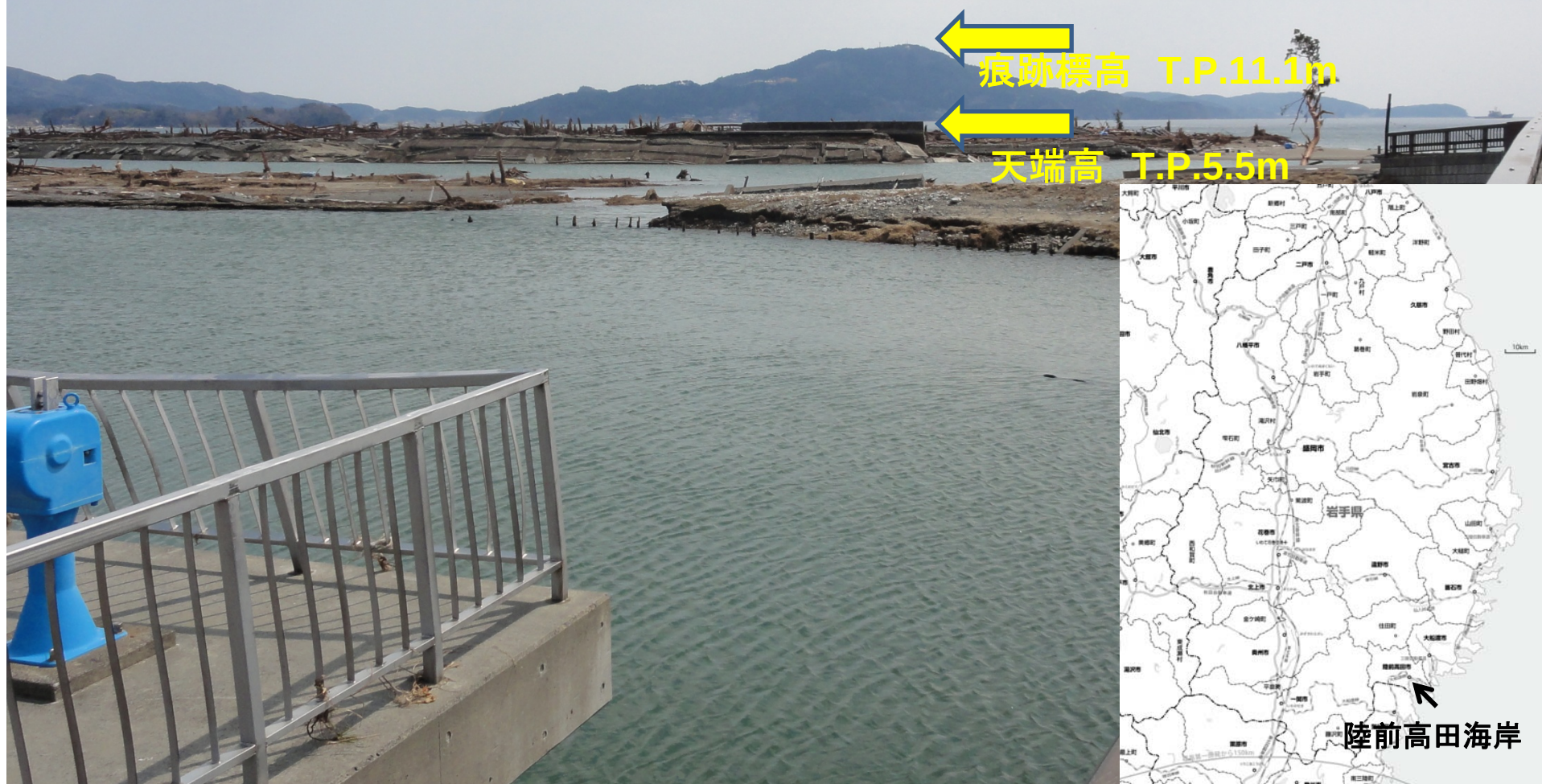


法尻洗掘が見られたが堤防は無事 (蒲崎海岸南部)





堤防破堤・全壊し海岸線後退 (三陸 陸前高田海岸)





堤防が二重の区間と一本の区間の被災 (三陸 田老海岸)



裏法被災

天端高T.P10m

西側

東側

痕跡標高
T.P.14.1m

破堤

天端高T.P10m

西側

痕跡標高 T.P.11m

天端高T.P10m

津波は天端高を超えたが背後地の浸水は小さい
(三陸 普代水門)

← 痕跡標高 T.P.22.2m

← 天端高 T.P.15.5m





裏法侵食、一部破堤 (三陸 金浜海岸)





津波高が堤防天端高を下回り背後地を防護 (三陸 平内海岸)

